

令和7年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

今年度5月に行われた「埼玉県学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。

令和7年度埼玉県学力・学力学習状況調査(正答率)

学年	教科	本校	狭山市	埼玉県	本校の学力の伸び
小4	国語	43.0	49.1	52.5	—
	算数	59.4	63.0	66.2	—
小5	国語	52.0	58.9	62.8	+2
	算数	41.9	45.4	48.3	+2
小6	国語	56.3	57.4	59.3	+1
	算数	46.3	49.9	52.4	+2

※「学力の伸び」…埼玉県が小学校4年生から中学校3年生の学力の範囲を36段階(1~12レベル、さらに1つ
のレベルをABCの3段階)に分け、昨年度からの学力の平均が何段階伸びたかを表しています。

【結果から】

- 4年・5年・6年とも全教科において県と市の正答率を下回っています。5・6年生は国語と算数共に前学年からの学力の伸びが見られます。
- 国語において漢字の読みや漢字を文脈に即して使うこと、文章の構成を理解することについては県平均を上回っていました。
- 算数において小数を分数に直す方法の理解や、正三角形の性質についての理解は県平均を上回っていました。
- 国語では根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことや文章の内容を捉えることが課題となっています
- 算数ではたし算の繰り上がりやかけ算、あまりのあるわり算等、計算の基礎についてが課題となっています。
- 質問紙においては清掃・美化活動への意識の向上が見られます。その一方で「苦手」などの感情をコントロールして学習への意欲を高めていく力が県に比べて低い傾向が見られます。

【学力向上のために行っていること】

- 授業規律の徹底**:学習の規律を徹底し、学習に集中して取り組めるようにしています。
- 基礎基本の定着**:通常の宿題、ドリル学習に加え、個に応じた学習ができるeライブラリの活用を進めています。
- 学習意欲・主体的な学習**:児童がわかる喜びを実感し、意欲を高められるように授業を展開しています。
- 地域人材、外部指導者等の活用と体験学習**:講師を招き専門的な知識を習得したり、校外学習を行ったりして体験学習の充実を図っています。